

## 第3号様式

(第1面)

## 事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒215-0021

住 所 神奈川県川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号

氏 名 中新産業株式会社

代表取締役 中島 真一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	中新産業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区上麻生1丁目1番地1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業、物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,043 kJ
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 <input type="checkbox"/> 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>

## (第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度 (報告年度 30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 様内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
 4 ※印の欄は記入しないでください。  
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,009 t-CO <sub>2</sub> (調) 4,069	(実) 3,874 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,935	(実) 3,837 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,895	(実) 3,684 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,739	(実) 3,930 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 3.4 % (調) 3.3 %	(実) 4.3 % (調) 4.3 %	(実) 8.1 % (調) 8.1 %	(実) 2.0 %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量			単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	ホテル照明を高効率ランプに更新し、また基準年度に故障していた空調熱源を修理したことによって従来の省エネ運用が可能となり、排出量を基準年度比3.4%削減することができた。
第2年度	株式会社OPA内テナント照明を高効率ランプに更新を行い、排出量を基準年度比4.3%削減することができた。
第3年度	株式会社OPA内でテナント入れ替えが有り、照明を高効率ランプの導入を推進した。又、熱源設備の運用方法を変更し排出量を基準年度比8.1%削減することができた。また計画期間では、器具更新時にLEDへの更新を優先する事により、削減率の達成をする事が出来た。

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

## 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

## (1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該當者等)	計画	なし。
	第1年度	○動力設備の運用管理 冷却塔ファンモーターのVベルトを省エネタイプに更新した。 ○照明設備の運用管理 照明設備の更新時に高効率ランプを採用した。(46台)
	第2年度	○照明設備の運用管理 テナント入居時照明設備を高効率ランプの導入。
	第3年度	○照明設備の運用管理 WC内の照明のLED化を進めた。
自動車等 (第3号該當者等)	計画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

## (2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

## ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

常用発電機設備はあるが（コーディネレーション未導入）廃止予定のため、今後は、グリーン電力の購入などによるカーボンオフセットを検討したい。

#### イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

#### ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計画	なし
第1年度	・廃棄物の分別化、減量化について再教育を行なった。
第2年度	・前年同様の廃棄物の分別化、減量化について再教育を行なった。
第3年度	・前年同様の廃棄物の分別化、減量化について再教育を行なった。

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

## ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,444	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,584	

## イ 第3号該当者等

(実)	t-CO <sub>2</sub>
(調)	

## (2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

## ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上 の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
中島ビル	川崎市麻生区上麻生1-1-1	6911	貸事務所	3,350 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

## ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1未満	
300～400k1未満	
200～300k1未満	
100～200k1未満	
100k1未満	1

## (3) 事業所等単位（第4号該当者等）

## ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数